

# 平成23年度香取市小中学校「標準学力調査」結果概要

香取市教育委員会

## 1 調査目的

各小中学校が、一人一人の子どもたちに「確かな学力」を身に付けさせるために、学習指導上の課題を明確にして、今後の指導の工夫・改善に活用する。

## 2 調査内容

### (1) 調査対象

小学校5年生・中学校2年生

### (2) 実施教科

小学校…国語・社会・算数・理科

中学校…国語・社会・数学・理科・英語

### (3) 調査実施日

平成24年2月3日（金）

## 3 調査方法

学習指導要領に示された内容のうち、ペーパーテストで調査を行うことが適当なものについて、学力調査を実施した。

## 4 調査結果、分析及び改善策

### 【小学校 第5学年】

#### [調査結果]

平均正答率（％）

教科	期待正答率	香取市平均	期待正答率との差	全国平均
国語	70.0	71.0	△1.0	72.5
社会	67.0	66.1	▼0.9	67.0
算数	69.4	69.3	▼0.1	71.7
理科	74.3	78.2	△3.9	78.4

#### [全体的な傾向]

国語と理科において、市平均正答率が期待正答率を上回った。全国平均と比べると、すべての教科で下回り、全体として学習の実現状況に課題がある。

〔国語科における主な課題（○）及び改善例（・）〕

○【話し合いの内容を聞き取る】話し合いの場面で、話し手の意見の相違点を聞き取り、自分の意見を話すことに課題が見られた。

・話し合いの場面では、内容を聞き取るだけでなく、それぞれの話し手がどのような話し方をしているのかを意識して聞くようにさせることが大切である。また、討論形式の話し合いでは、自分の意見に対して、相手からどのように反論されるのかも予測して、それに対する意見を用意しておくことで、より説得力のある意見を述べるができる。

○【漢字の読み書き】漢字の読み書きでは、「残念」を書くことに課題が見られた。

・文や文章を書く際には、漢字自体の意味を意識しながら正しく使ったり、できるだけ既習の漢字を使ったりする習慣を付けるように指導することが大切である。また、国語科のみならず、他教科における書く活動の中でも意識的に指導していったり、普段から積極的に漢字を書くことを習慣付けたりするように心がけたい。

○【説明文の内容を読み取る】説明文の読み取りでは、半数の問題で正答率が期待正答率を下回り、特に段落のまとまりを考えながら読むことに課題が見られた。

・文章全体で言いたいことをとらえさせるには、段落ごとの要点を押さえ、それらのつながりを意識して読む指導を行う必要がある。段落ごとの要約と、それをもとにした文章の要旨をとらえる学習を通して、部分の正確な理解とともに、全体の構成にも目を向けさせることが大切である。

○【2つの新聞記事を読み取る】新聞記事の読み取りでは、2問ともに正答率が期待正答率を10ポイント以上下回り、全体的に課題が見られた。

・新聞記事は、見出しから言葉に対する興味・関心を持たせやすく、事実は同じでも言葉の使い方読み手の印象が変わることをとらえさせたい。複数の新聞記事を比較し、その表現の特徴から書き手の立場や考え方を読み取る学習は、書き手の論理や表現の仕方を比較して整理する上でも重要である。

〔社会科における主な課題（○）及び改善例（・）〕

○【世界の中の国土】日本の南端の島の位置の理解に課題が見られた。

・日本の領域については、たびたびニュースでも取り上げられる話題である。日本の領域の範囲・名称・位置や、領域と経済水域の関連性などについて、地図帳・ワークシート・新聞記事などの資料を活用し、様々な視点から考察させて理解を深めたい。

○【日本の国土と人々の暮らし】日本の国土や主な地形の名称の理解などに課題が見られた。

・日本の国土の中でも特色のある地域に住む人々の生活の様子を理解させ、様々な地域の特色が生活や産業と結び付いていることを考えさせたい。そのためには、資料をもとに調べ学習した内容をグループごとに討論させ、それぞれの地域の特色やそこに生きる人々の知恵や工夫などをお互いに知り、理解させる指導が重要である。

○【日本の農業】米づくりをしている人々の工夫や努力についての問題に課題が見られた。

・児童は米づくりについては、米が毎日口にするものであることから関心があるはずだが、生産に携わる人々の工夫や努力を考えさせるのは難しい。教科書や資料などで生産者の人々の生活を知るだけでなく、地元の生産者に協力を仰ぎ「米づくり体験」などに児童

を参加させることで、少しでも生産者の苦労や悩みなどを考えられるような指導法を導入することが重要である。

○【日本の水産業】日本の漁業別生産量のグラフの読み取りや、栽培漁業の理解に課題が見られた。

・水産業に関わる人々の生活を通し、日本の漁業の抱える問題について様々な面から考察させたい。また、グラフの読み取りについても、単に事実を読み取るだけでなく、なぜそのような変化をしているのかを、児童同士で考えさせながら読み取らせることが効果的である。

[算数科における主な課題（○）及び改善例（・）]

○【小数のかけ算・わり算】小数の乗除における大小関係や、検算の方法についての理解、問題文から答えが整数であることを読み取る問題、式の意味を理解し逆算して比較する問題などに課題が見られた。

・小数の計算においては、計算技能だけではなく、計算の意味を理解させることが重要である。特に小数の乗除の計算においては、数直線上に数量の関係を表現し、説明させるなどの活動を通して、乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係をとらえさせることが大切である。

○【図形の角】三角形の内角の和を使って、六角形の内角の和を求める問題に課題が見られた。

・多角形の内角の和は、三角形の内角の和を使って求められることに、児童自ら気付かせるようにしたい。そのためにも、多角形に対角線を引かせるなどの操作活動を通して、多角形の内角の和が、分割した三角形や四角形の内角の和を足すことで求められることを実感させることが効果的である。

[理科における主な課題（○）及び改善例（・）]

○【けんび鏡の使い方】顕微鏡の正しい操作（明るさの調整）に課題が見られた。

・顕微鏡の使い方については、各部の名称を答えることができるだけでなく、操作方法を手順に沿って身に付けさせる必要がある。観察を通して、教師の助言だけではなく、児童が実際に操作し体験することや、グループで学び合うような工夫をすることで、定着を確かなものにしたい。

○【植物の花のつくりと受粉】ヘチマの実になる部分を指摘することに課題が見られた。

・植物の観察については、一人一人が観察できる場を設定し、自ら発見したり、気付かせたりすることが重要である。また、デジタル教材などを効果的に活用し、学習内容のイメージを具体的にとらえさせ、科学的な見方や考え方を深められるように指導したい。

○【雲と天気の変化】「夕焼けの次の日は晴れ」と言われる理由を説明する問題に課題が見られた。

・天気の影響で学校行事が中止になることもあり、日常生活において児童の天気に対する関心は高いと思われるが、実際に空を見上げて明日の天気を考える機会は少ない。実際に雲の動きや気温の変化を観察させることで、天気の変わり方や規則性についての理解を深め、日常生活においても気象情報を活用できる態度を育てることが大切である。

【中学校 第2学年】

[調査結果]

平均正答率 (%)

教科	期待正答率	香取市平均	期待正答率との差	全国平均
国語	67.7	72.0	△4.3	70.5
社会	61.8	64.6	△2.8	60.3
数学	61.3	66.1	△4.8	62.0
理科	61.5	70.8	△9.3	65.0
英語	60.7	61.0	△0.3	55.3

[全体的な傾向]

市平均正答率は、期待正答率、全国平均と比べると、すべての教科で上回っている。全体として、学習の実現状況はおおむね良好である。

[国語科における主な課題 (○) 及び改善例 (・)]

- 【漢字の読み書き】漢字の読み書きでは、「収納」を書くことにやや課題が見られた。
  - ・漢字の由来は、使用頻度に左右されるため、年間を通して意識して指導する必要がある。日頃から漢字を使って短文作りをさせたり、教科書の音読を通して新出漢字を確かめさせたりするなどして、習熟を図りたい。
- 【文法・語句に関する知識】故事成語を具体的な状況と結び付けて理解することに課題が見られた。
  - ・故事成語の意味を正確に理解しているかを、日常的な文例での用法を通して見る問題である。故事成語は、一度正確に理解すれば印象に残りやすいことから、確実に身に付けさせたいものである。また、必ず由来となる故事があることから、その故事の意味をしっかりとらえさせ、日常の用例に置き換えられるようにしたい。
- 【説明文の内容の読み取り】説明文の読み取りでは、正答率の低い問題が多く、特に、筆者の論理の展開の仕方を的確に理解することに課題が見られた。
  - ・文章の要旨については、文章のまとめに書かれていることが多いが、それだけで判断せずに、大きく問いと答えを押さえた上で考える必要がある。また、キーワードをもとに要旨をまとめる練習も取り入れていきたい。
- 【文学作品の内容の読み取り】文学作品の読み取りでは、表現の仕方や文章の特徴に注意して読むことに課題が見られた。
  - ・本問は、会話文を読んで二人がどの表現に最も着目しているかを理解し、それを本文中から選択する問題である。二人が着目しているのは心の中の言葉であり、それに気付けば正答に辿り着くことができる。日頃の授業においても、文中の心理描写や表現の工夫について取り上げ、生徒に話し合わせる活動を取り入れていきたい。

[社会科における主な課題 (○) 及び改善例 (・)]

○【世界の国々の調査 (アメリカ)】資料からアメリカの地形の概要を読み取ることに課題が見られた。

・身近な地域を題材とした等高線などの学習は小学校で行っているが、世界地理の規模まで拡大すると、まだ理解が定着していないようである。白地図を活用し段彩図を作らせるなど、視覚的に地理的特徴を表現させるような指導を行うことが重要である。

○【世界や日本の地形と人口分布】複数の資料を読み取り、過疎地域の現状を判断する問題に課題が見られた。

・世界と日本の人口における諸問題については、「過疎と過密」「少子高齢化」「人口爆発」などのキーワードをもとにした視点で、統計資料や図などを活用して調べさせるのが効果的である。そして、日本や各国が抱える食糧事情や環境問題、過疎化対策や経済格差などに視野を広げていけるような指導を行いたい。

○【ヨーロッパ人との出会いと全国統一】室町幕府の最後の将軍についての理解や、織田信長のキリスト教政策の背景を考えることに課題が見られた。

・この時代は、武士による政治が定着する一方で、独自の室町文化が生まれてきた時代であり、生徒の興味・関心を生かしながら学習を展開したい。具体的には、映像や写真資料を活用したり、人物のエピソードを紹介し合って学習意欲を高めたり、年表を使って複数の事象を比較・関連させて、時間的・空間的流れで読み取れるようにしたりするなどの指導が有効である。

[数学科における主な課題 (○) 及び改善例 (・)]

○【1次関数の利用】動点のつくる図形の面積の変化について、式に表す問題にやや課題が見られた。

・動点の問題は入試等においてはよく出題されるが、多くの生徒が苦手とする内容である。コンピュータによるシミュレーションを効果的に用いて、事象のもつ数学的な性質に興味・関心を抱かせるようにしたい。

・式、表、グラフなどの表現方法で、ともなって変わる2つの数量の変化を説明することは、多様な角度から問題解決の方法を探る一助になると考える。そこで、視覚的な教材を使ったり、生徒同士の考えを記述し見せ合ったりすることで、自分の思考を整理し、的確な発表や説明ができるように図りたい。

○【平行線と角・図形の性質】証明を読んで、結論を導く理由を平行線と角の関係から説明することに課題が見られた。

・根拠を用いて説明する力を付けるためには、グループ学習の中で、図、式、言葉を使って証明を整理する際に、経過を互いに伝え合い、学び合う場面を設定したい。また、考えた説明を伝え合う中で、自分の説明を改善することができ、的確な記述説明ができるように図ることが重要である。

[理科における主な課題（○）及び改善例（・）]

- 【電流と電圧】家庭の電気配線のつなぎ方とその理由を説明することに課題が見られた。
  - ・直列回路と並列回路の復習においては、抵抗を使った回路で、抵抗の数を増やしても規則性や特徴が同じように表れるのかを確認し、理解を深めさせることが重要である。その上で、並列回路の特徴が、なぜ家庭の電気配線に使われるのかに気付かせるようにしたい。
- 【動物のなかま】軟体動物を指摘することに課題が見られた。
  - ・軟体動物とは、単に「体が軟らかい動物」ではないことを、確実に定着させることが重要である。無セキツイ動物には、節足動物や軟体動物などが分類されるが、それぞれの分類に属する代表的な動物を、しっかりと押さえておきたい。
- 【水の分解を調べる実験】物質の性質から、「化合物」と「単体」を定義することにやや課題が見られた。
  - ・水の電気分解については、実験結果を原子や分子のモデルで説明することや、化学反応式で表現することを、グループ同士で行って言語活動として定着させたい。また、燃料電池の反応をモデルと化学反応式で表し、水の電気分解と逆の反応であることに気付かせ、色々な化学変化を化学反応式で表す際に応用できるようにしたい。

[英語科における主な課題（○）及び改善例（・）]

- 【リスニング（会話内容）】英文の聞き取りでは、Will you～? の相手に依頼する表現を聞き取ることに課題が見られた。
  - ・Will you～? が依頼の表現であることは理解できているものの、動詞 read が聞き取れず「出してほしい」と勘違いしたものや、自分から申し出ると誤答したのが見られた。こうしたその場面特有の表現は、決まった表現であるためそのまま覚え、いつでも使えるようにしておくことが大切である。その他、申し出る表現の Shall I～? や許可を求める表現の May I～? などと合わせて覚えることで、日常会話の幅を広げたい。
- 【単語の並べかえによる英作文】単語の並べかえによる英作文は、ほとんどの問題において課題が見られた。特に、動名詞が主語の文の語順については、丁寧に復習しておきたい。
  - ・語順については、文型を覚えることはもちろん、助動詞、動名詞などが使われている文についても、繰り返し書かせるなどして定着させる必要がある。特に、動名詞は「～すること」という意味を持ち、主語や目的語としての用法があるため、それぞれの場合の語順について使い分けられるようにしたい。
- 【条件英作文】条件英作文は、相手の希望をたずねる文、未来形の疑問文ともに課題が見られた。
  - ・条件英作文は、決まった表現を書かせることが多い。この場面ではこういう、という定型表現をしっかり覚えさせることが、英語の表現力の向上にもつながる。日常の授業の中で、一つ一つ丁寧に指導していくとともに、英文を記述させることにも普段から慣れさせたい。